

# 公募型プロポーザル審査報告書

## 1 業務名

令和5年度朝来市地域コミュニティの在り方検討支援業務

## 2 プロポーザルの方式

公募型プロポーザル方式

## 3 業務内容

- (1) 各地域自治協議会へのヒアリングの実施
- (2) 職員が実施する小規模集落へのヒアリングの支援
- (3) 地域コミュニティの在り方検討に向けた課題の抽出
- (4) 各地域自治協議会関係者等地域づくり実践者向け講座の実施
- (5) 職員を対象とした情報共有を図るための研修会の実施

## 4 審査項目及び配点

- (1) 業務実績 (5点)
- (2) 実施体制 (10点)
  - ①担当者及び責任者の能力
  - ②業務遂行の確実性
- (3) 見積価格 (5点)
- (4) 業務の知見 (20点)
  - ①業務に対する知識・理解
  - ②朝来市の地域特性の理解
- (5) 企画提案 (40点)
  - ①各地域自治協議会に対するヒアリング及び職員が実施する小規模集落へのヒアリング支援に関する提案
  - ②地域コミュニティの在り方検討に向けた課題の抽出に関する提案
  - ③各地域自治協議会関係者等地域づくり実践者向け講座に関する提案
  - ④職員向け研修会に関する提案
- (6) 総合評価 (20点)

## 5 プロポーザルまでの日程

令和5年6月8日(木)	第1回審査委員会
令和5年6月14日(水)	公募型プロポーザル審査実施公告
令和5年6月21日(水)	質問書提出期限(質問受付数1件)
令和5年6月28日(水)	質問書の回答
令和5年7月20日(木)	参加表明書及び企画提案書等の提出期限
令和5年7月27日(木)	第2回審査委員会
	*プレゼンテーション及びヒアリングによる審査を行い、業務受託候補者を選定

6 審査結果（業務受託候補者）

特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構

7 契約候補者選定理由

各集落及び地域自治協議会への調査並びにヒアリングについて、対話を重視した取り組み内容となっており、集落カルテを作成し地域の課題を可視化したうえで具体的に認識できる手法を取り入れるなど、今後の課題整理等にも活用できる提案内容であった。

これまでも市内の地域自治協議会活動に関わった実績もあり、地域づくり実践者向け講座については、地域の特性を理解し若者や女性が安心して参加ができる対話の場を意識した提案となっていた。

また、市職員を対象とした研修についても、朝来市地域担当職員の活動を十分に把握しており、今後必要となる行政内部における横断的な連携体制の構築に向けた提案内容であった。

市内の各集落が抱える課題の把握と整理、現在必要とされている講座及び研修の実施など、これまでの豊富な経験に基づく提案であり、円滑に業務を遂行できると評価した。

8 順位等

順位	提案事業者名	得点
1	特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構	421点

\*1 審査委員5人によって採点を行った。

\*2 各委員100点の持ち点で、500点満点中の得点である。